

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年8月25日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室 or ZOOM ミーティング

- 一般講演抄録 1 -

多数のインプラントを用いた全顎的補綴治療における問題点

江藤崇文

江藤歯科医院 〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船 1029 番地 1

■抄録

歯科治療において術前の診査診断は、術後の長期予後を可能にするために重要である。特に多数のインプラントを用いた全顎的な補綴修復処置を行う際には、外科処置や補綴処置をスムーズに進めるために慎重な計画立案と正確な術式が不可欠である。しかし診査診断時の見落としや経験不足などによって、術中に想定外の問題に遭遇することもある。

患者は69歳男性、2019年7月に咀嚼機能の改善を主訴として来院した。過去に上下部分床義歯を装着し、徐々に歯牙を喪失しながら増歯・義歯再作成を繰り返していた。すでに臼歯の咬合支持は喪失しいわゆるすれ違い咬合の様相を呈していた。術前の診査診断のもと欠損部にインプラントを併用し上顎の残存歯は抜去し治療を進めているが外科・補綴処置にて様々な問題に直面している。また、術者の気づかない問題点も多くあるのではないかと危惧している。現在プロビジョナルを装着したところだが、最終補綴へ移行していくにあたり、良い結果を得るため会員の皆様と症例を供覧してアドバイスをいただき、今後の学びにつなげたい。本症例における利益相反はない。